

# 寸言

日本航空株式会社  
執行役員整備本部長  
濱本 隆士



## 航空機整備からのTo The NEXT、価値創造にむけて

この度、日本航空株式会社の整備本部長に就任いたしました、濱本隆士と申します。これまでの弊社へのご厚情に心より感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて、弊社が「寸言」へ寄稿させていただくのは実に約20年ぶりとなります。この間、航空業界を取り巻く環境は大きく変化しました。この変化は航空機整備の領域も例外ではなく、近年は航空機に搭載された各種センサーから入手したデータを用いて行う、故障予測分析が進んでいます。故障予測とは、それらセンサーデータを分析し部品が壊れる予兆を捉えることであり、不具合が実際に発生する前に部品を交換するなどのメンテナンスを行う予測整備の一環ですが、精度の高い故障予測はデータだけでは実現できません。日々の整備作業を通じて得られるトラブルシューティングの経験を基に、不具合に至るシナリオの仮説を立て、その仮説を一件ずつ分析し統計的に検証するという、これまでに蓄積した整備士・エンジニアの知見とデータとの統合的なアプローチが求められます。弊社では2016年から故障予測モデルの作成を他業種企業や大学からもご協力頂きながら取り組んでおり、これまでに空調システムや飛行制御系システムなどを対象に200件以上の予測モデルを構築し、機財品質向上の一翼を担うようになりました。

その他、弊社ではこれまでに培った航空機整備のノウハウを活かし、宇宙領域における取り組みも加速させているところです。政府は2023年6月に第5次宇宙基本計画を閣議決定し、宇宙産業を日本経済における成長産業とする方針を打ち出しました。近年の宇宙開発ではスタートアップの存在感が高まっておりますが、それらスタートアップの特徴の一つにさまざまな業種の企業をパートナーとして迎え、協調して課題解決に挑むスタイルが挙げられます。弊社も複数のスタートアップと連携しているところですが、宇宙ロケットの整備性向上への助言など多岐にわたる領域でご支援させていただいております。通常の航空機整備とは異なる環境となるため、柔軟な発想が求められますが、一方で日常の航空機整備では経験のできない業務も多く、学びの多い貴重な機会となっています。

航空宇宙業界はこれまでもさまざまな試練に直面しながら、力強く立ち向かってまいりました。現在もサプライチェーンの停滞や脱炭素への貢献、人財不足など多くの課題がありますが、必ずや乗り越え一層強靱な業界となることを確信しています。弊社も微力ながら、会員の皆様と共に力を合わせ、新たな時代を切り拓き、業界の発展に向けて挑戦を続けてまいりたい所存です。何卒よろしくようお願い申し上げます。